

全国高等学校インテリア科教育研究会

平成28年度 第2回協議会

平成29年 2月10日(金)

13:00~15:00

東京都立工芸高等学校 校長室

<日 程>

13時00分~15時00分 第2回理事会

第2回理事会 次 第

- 1 開会のことば
- 2 会長挨拶
- 3 議 事
 - 1 平成28年度 事業報告
 - 2 平成28年度 中間会計報告
 - 3 平成29年度 事業計画(案)
 - 4 平成29年度 予算(案)
 - 5 役員改選
 - 6 その他
- 4 閉会のことば

参加者

会長 理事長 理事 会計

教科目研究会担当 ホームページ担当

1 平成28年度 事業報告

(1) 協議会

第1回協議会 平成28年 5月 8日(金) 場所：東京都立工芸高等学校

第2回協議会 平成29年 2月10日(金) 場所：東京都立工芸高等学校

(2) 全国高等学校インテリア科教科目研究会

担 当：千葉県立市川工業高校

期 日：平成28年8月4日(木)～5日(金)

会 場：千葉県立現代産業科学館 千葉県市川市鬼高1-1-3

内 容：一日目 千葉県立現代産業科学館の見学

ミニチュア家具によるインテリアコーディネート演習

二日目 TOTOテクニカルセンター(新宿) 見学

(3) 委員会・担当

①第10回高校生ものデザインコンテスト (市川工業：村川)

主 催：全国高等学校インテリア科教育研究会

後 援：社団法人 全国工業高等学校長協会

協 賛：拓殖大学、日本工業大学、青山製図専門学校、専門学校ICSカレッジオブアーツ、
専門学校山脇美術専門学院、タケダコーポレーション、日本フーランスインテリア
コーディネーター協会(JAFICA)

参加資格：全国高等学校インテリア科教育研究会加盟校の生徒

募集部門：クラフト部門、インテリアデザイン部門

課 題：クラフト部門 テーマ：自由

インテリアデザイン部門 テーマ：高校生の住まいを考える

表 彰：最優秀賞、優秀賞、優良賞、奨励賞

担 当 校：千葉県立市川工業高等学校

エントリー：7月3日必着 作品送付7月6日～17日消印有効

応 募 数：クラフト部門 32点・インテリアデザイン部門 169点

合計201点(昨年158点)

※JAPANTEX事務局の厚意により、今年ものデザインコンテストの優秀作品を

「JAPANTEX2016」の全イ研ブースに展示することができた。

②ホームページ担当 (都立工芸高校：鈴木)

(4) 優良生徒表彰

平成28年度加盟校関係学科卒業見込み生徒。全定各1名。25校27名を表彰(別紙参照)

(5) 賛助会員および個人会員の募集

新規入会：なし

(6) 会員の表彰および顧問の推薦

なし

(7) 関係団体の催し

①第15回高校生ものづくりコンテスト九州大会（鹿児島大会）家具・工芸部門

主 催：九州地区工業高等学校協会

主 管：鹿児島県教育研究会工業部会

後 援：鹿児島県教育委員会

期 日：7月9日(土)・10日(日) 鹿児島工業高校

参加資格：九州地区の工業系学科を置く高等学校に在籍する生徒で、九州各県で行う代表選考会により、県代表として選出されたもの。

参加生徒：6校・6名

表 彰：最優秀賞（1位）鹿児島県立川内商工高等学校インテリア科2年満尾 聡史

優 秀 賞（2位）熊本県立八代工業高等学校 インテリア科3年坂本 飛

優 秀 賞（3位）長崎県立長崎工業高等学校 インテリア科2年中尾 優香

②第31回 全国高等学校インテリアデザイン展（デザイン甲子園）

主催：(財)大川インテリア振興センター

応募期間：平成28年8月22日(月)～9月7日(水)

参加校：33校(前年37校) 応募点数は297点(前年341点)

審 査：9月13日(火)

表彰式：10月8日(土) 賞状授与及び上位3名によるプレゼンテーション

・優秀作品を10月8日(土)～10日(月)大川市文化センターにて展示

・今年度も入賞者全員が表彰式に招待された。

③平成28年度 住まいのインテリアコーディネートコンテスト 高校生部門

主 催：公益社団法人 インテリア産業協会

後 援：経済産業省

課 題：「元気！の出るリビング空間」

「一辺2.7mの立方体と一辺3.2mの立方体がつながった空間」を設定し、

「元気！の出るリビング」のインテリア空間を提案。

表 彰：インテリア産業協会会長賞(1点)高校生部門賞(1点)優秀賞(2点)奨励賞(4点)

応募期間：7月7日(木)～27日(水)

審 査：8月3日(月) 結果発表：8月10日(月)

参加校：17校(昨年21校) 作品総数 120点(昨年230点)

※優秀作品は作品集各校にして配布して頂いた

※今年度も「JAPANTEX2016」インテリア産業協会ブースにおいて大々的に展示された。

(8) その他

2 平成28年度 中間会計報告				
(1) 一般会計 (中間報告)				
①収入の部				
(単位:円)				
項 目	28年度予算	28年度中間	比較増減	摘 要
1 繰越金	65,338	65,338	0	
2 学校会費	250,000	250,000	0	10,000円×25校
3 個人会費	2,000	2,000	0	2,000円×1名
4 賛助会費	210,000	160,000	-50,000	10,000円×21口 16口
5 事業費	30,000	30,000	0	生徒参加型競技会(ものデザイン協賛金) (財)建築技術教育普及センター
6 補助金	50,000	50,000	0	全工協より
7 雑収入	62	30	-32	利子
合 計	607,400	557,368	-50,032	
②支出の部				
(単位:円)				
項 目	28年度予算	28年度中間	比較増減	摘 要
1 事務費	35,000	30,202	-4,798	備品、消耗品等
2 通信費	20,000	17,738	-2,262	切手
3 会議費	3,000	1,966	-1,034	湯茶等
4 渉外費	20,000	20,216	216	JAFICA年会費、交通費等
5 事業費	528,000	223,295	-304,705	
① 教育研究大会費	0	0	0	
② 研究協議会費	318,000	20,720	-297,280	役員交通費
③ ホームページ運営費	10,000	8,078	-1,922	HP運営経費
④ 優良生徒表彰	30,000	23,864	-6,136	賞状、ホルダー、送料
⑤ 生徒参加型競技会	120,000	120,633	633	ものデザインコンテスト助成
⑥ 地区教研費	50,000	50,000	0	地区教研費助成
⑦ 教育課程研究費			0	
⑧ 記念誌編集費			0	
6 予備費	1,400	0	-1,400	
合 計	607,400	293,417	-313,983	
557,368(収入総額) - 293,417(支出総額) = 263,951(差引残高)				

(2) 特別会計 (中間報告)				
①収入の部				
(単位:円)				
項 目	28年度予算	28年度中間	比較増減	摘 要
1 繰越金	155,998	155,998	0	
2 記念事業等積立金	1,300,000	1,300,000	0	
3 寄付金	0	0	0	
4 雑収入	270	144	-126	利子
合 計	1,456,268	1,456,142	-126	
②支出の部				
(単位:円)				
項 目	28年度予算	28年度中間	比較増減	摘 要
1 記念事業等積立金	1,300,000	0	-1,300,000	次期記念事業等積立
2 教育研究会大会助成	0	0	0	
3 事業費	40,000	0	-40,000	全イ研ものコン作品展示(JAPANTEK)
4 予備費	116,268	0	-116,268	
合 計	1,456,268	0	-1,456,268	

3 平成29年度 事業計画（案）

(1) 協議会

第1回協議会 平成29年 5月19日（金）場所：東京都立工芸高等学校

第2回協議会 平成29年 8月 2日（水）場所：伊勢市 神宮会館

第3回協議会 平成30年 2月16日（金）場所：東京都立工芸高等学校

(2) 第50回全国高等学校インテリア科教育研究大会（別紙参照）

期 日：平成29年8月2日（水）～4日（金）

会 場：三重県伊勢市 神宮会館・神宮徴古館

当番校：三重県立伊賀白鳳高等学校 工芸デザイン科 担当 中山 啓介

内 容：2日(水)（前日）第2回協議会(理事会)

3日(木) 開会行事・講話・総会・講演・研究発表・表彰式・指導講評

4日(金) 協議・表彰・閉会行事

(3) 第11回高校生ものデザインコンテスト（別紙参照）

*詳細は後日担当校（市川工業高校）から発信される予定。

*次年度も優秀作品は見本市「JAPANTEX2017」（11/15～17）にて展示予定。

(4) 優良生徒表彰

例年通り行う。

(5) 賛助会員および個人会員の募集

継続して行う。

(6) 会員の表彰および顧問の推薦

継続して行う。

(7) 関係団体の催し

①第32回 全国高等学校インテリアデザイン展（デザイン甲子園）

主催：(財) 大川インテリア振興センター

*詳細は後日主催者から発信される予定。

②平成29年度 住まいのインテリアコーディネートコンテスト 高校生部門

主催：公益社団法人 インテリア産業協会

*今年度と同時期に開催予定。詳細は後日主催者から発信される。

(8) その他

4 平成29年度 予算(案)				
(1) 一般会計				
①収入の部				
(単位:円)				
項 目	28年度予算	29年度予算	比較増減	摘 要
1 繰越金	65,338	263,951	198,613	
2 学校会費	250,000	250,000	0	10,000円×25校
3 個人会費	2,000	2,000	0	2,000円×1名
4 賛助会費	210,000	210,000	0	10,000円×21口
5 事業費	30,000	30,000	0	生徒参加型競技会(ものデザイン協賛金) (財)建築技術教育普及センター
6 補助金	50,000	50,000	0	全工協より
7 雑収入	62	49	-13	利子
合 計	607,400	806,000	198,600	
②支出の部				
(単位:円)				
項 目	28年度予算	29年度予算	比較増減	摘 要
1 事務費	35,000	35,000	0	備品、消耗品等
2 通信費	20,000	20,000	0	切手
3 会議費	3,000	3,000	0	湯茶等
4 渉外費	20,000	20,000	0	JAFICA年会費、交通費等
5 事業費	528,000	680,000	152,000	
① 教育研究大会費	0	100,000	100,000	教育研究大会費助成
② 研究協議会費	318,000	420,000	102,000	役員交通費
③ ホームページ運営費	10,000	10,000	0	HP運営経費
④ 優良生徒表彰	30,000	30,000	0	賞状、ホルダー、送料
⑤ 生徒参加型競技会	120,000	120,000	0	ものデザインコンテスト助成
⑥ 地区教研費	50,000	0	-50,000	地区教研費助成
⑦ 教育課程研究費			0	
⑧ 記念誌編集費			0	
6 予備費	1,400	48,000	46,600	
合 計	607,400	806,000	198,600	

(2) 特別会計予算(案)				
①収入の部				
(単位:円)				
項 目	28年度予算	29年度予算	比較増減	摘 要
1 繰越金	155,998	156,142	144	
2 記念事業等積立金	1,300,000	1,300,000	0	
3 寄付金	0	0	0	
4 雑収入	270	158	-112	利子
合 計	1,456,268	1,456,300	32	
②支出の部				
(単位:円)				
項 目	28年度予算	29年度予算	比較増減	摘 要
1 記念事業等積立金	1,300,000	1,300,000	0	次期記念事業等積立
2 教育研究会大会助成	0	100,000	100,000	
3 事業費	40,000	40,000	0	全イ研ものコン作品展示(JAPANTEX)
4 予備費	116,268	16,300	-99,968	
合 計	1,456,268	1,456,300	32	

5 役員改選

役 職	平成 28 年 度		役 職	平成 29 年 度	
	氏 名	学 校 名		氏 名	学 校 名
会 長	鳥屋尾史郎	東京都立工芸高等学校	会 長	鳥屋尾史郎	東京都立工芸高等学校
副 会 長	辻 正幸	三重県立伊賀白鳳高等学校	副 会 長	村田 武俊	三重県立伊賀白鳳高等学校
理 事 長	斎藤 俊博	東京都立工芸高等学校	理 事 長	斎藤 俊博	東京都立工芸高等学校
副理事長	中山 啓介	三重県立伊賀白鳳高等学校	副理事長	中山 啓介	三重県立伊賀白鳳高等学校
理 事	岸上 恭史	秋田公立美術大学附属 高等学院	理 事	岸上 恭史	秋田公立美術大学附属 高等学院
	道高 良雄	名古屋市立工芸高等学校		若井 康彦	名古屋市立工芸高等学校
	甲斐 久生	大分県立鶴崎工業高等学校		佐藤 大作	大分県立鶴崎工業高等学校
	楚山 修司	千葉県立市川工業高等学校		楚山 修司	千葉県立市川工業高等学校
				土井 憲司	福岡市立博多工業高等学校
		六村 浩士	大阪市立工芸高等学校		
会 計	片山 路仁	東京都立工芸高等学校	会 計	片山 路仁	東京都立工芸高等学校
監 事	太目 光	長野県木曾青峰高等学校	監 事	太目 光	長野県木曾青峰高等学校
	田平 幸絵	長崎県立長崎工業高等学校		田平 幸絵	長崎県立長崎工業高等学校
委 員 会	*平成26年度から凍結				
HP担当	鈴木杏由未	東京都立工芸高等学校	HP担当	鈴木 杏由未	東京都立工芸高等学校
ものコン担当	村川 剛啓	千葉県立市川工業高等学校	ものコン担当	村川 剛啓	千葉県立市川工業高等学校
教科目研担当	村川 剛啓	千葉県立市川工業高等学校	教科目研担当		

*「HP」とは、ホームページのこと。「ものコン」とは、高校生ものデザインコンテストのこと。

*「教科目研」とは、教科目研究会のことで、大会の開催されない年度に行われる。(隔年開催)

6 その他

(1) 顧問の選任について

※本人の承諾を確認した方のみを次年度以降の顧問とする。

- ・理事会の推薦により顧問を置くことができる。(会則第9条)
- ・理事会において推薦し、総会の承認を得る。(運営内規第4-3)

(2) 記念誌「50年のあゆみ」の残部について

※1500冊発行し、関係各所に配布した。現在、事務局には300冊残っている。

⇒配布先としてお心当たりのある方は、宛先と冊数を事務局までお知らせください。